

1. 診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	病理診断科
② 診療科の特徴	<p>①病理診断カンファレンスを毎日開催し、日々診断能力の向上に努めています。毎週木曜日は、院外の病理医も参加し、診断困難症例や教育的症例を持ち寄って検討します（病理診断科ホームページ）。</p> <p>②病理医は、臨床研究センター・高度診断研究部・病理診断研究室にも所属し、日常業務に関連した研究を行っています。特に乳腺領域では、院内他科や他施設との共同研究に力を入れています（病理診断研究室 臨床研究センター）。</p> <p>③乳腺術前カンファレンスでは、外科医、放射線診断医とともに、手術予定症例について検討しています。</p> <p>④リンパ腫カンファレンスでは、外部から専門家を招いて診断困難症例についてご意見を伺っています。</p>
③ 診療科のモットー	臨床各科と連携し患者さんのための病理診断を行います。
④ 診療内容・実績 (2024年度)	生検・手術材料 6432 件、細胞診 4476 件、術中迅速診断 250 件、病理解剖 7 件
⑤ 診療体制 (2025年 4月時点)	常勤病理医 3 名、非常勤病理医 1 名（いずれも日本病理学会および日本臨床細胞学会研修指導医）、専攻医 1 名
⑥ 診療科カンファレンス	病理診断カンファレンス、細胞診カンファレンス、乳腺術前カンファレンス、乳腺画像診断カンファレンス、リンパ腫カンファレンス
⑦ 経験できる疾患	膠原病や免疫不全に関連したまれな病変が多く、腫瘍だけではなく幅広い疾患が経験できます。リンパ腫が多く、特に眼科領域の件数が多いです。乳腺手術検体については、当院で開発した検索方法で、詳細に検討しています。
⑧ 経験できる技術・技能	病理組織診断、細胞診診断、病理解剖
⑨ 学会について	日本病理学会、日本臨床細胞学会
⑩ その他	私たちと明日の病理を作りませんか？

2. 専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合 →受け入れていません

項目	内容
① 取得可能な専門医	
② その他	

3. 専門研修プログラムで採用の場合

項目	内容
① 基幹施設	名古屋大学、名古屋市立大学、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
② 取得可能な専門医	病理専門医、細胞診専門医、分子病理専門医
③ その他	

4. 指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

病理医は臨床医に育てられます。名古屋医療センターは、熱心で優秀な臨床医が多い総合病院です。日々、幅広い疾患に対応するうちに、病理医として大きく成長することができます。